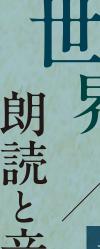
第48回 日本死の臨床研究会 年次大会

市民参加企画

touji wiyazawa the world





「アメユジュを求めて」型染絵 小田中 耕一 作

2025年

11月2日日 11:30~12:30 盛岡市民文化ホール大ホール

朗読 大塚 富 夫



演奏 三浦寿者



岩手県 成岡市 後

般社団法人岩手県医師会、一般社団法人盛岡市医師会、公益社団法人岩手県看護協会、一般社団法人岩手県理学療法士会、一般社団法人岩手県作業療法士会、

-シャルワーカー協会、一般社団法人岩手県訪問看護ステーション協議会、岩手県がん診療連携協議会

演目

- 1. 「永訣の朝」
 - 2. [無声慟哭|
 - 3. 「虔十公園林|
 - 4. 「眼にて云ふ」
 - 5. 「雨ニモマケズ」
 - 6. 「宮沢賢治が教え子に宛てた最後の手紙(抜粋)」

演者紹介



朗読 大塚 富夫
IBC岩手放送アナウンサー

《略歴》

1949年(S24)東京都生まれ

1973年東洋大学経営学部卒業・IBC報道部にアナウンサーとして入社

1974年からラジオ番組「IBCトップ40(フォーティー)」を 15年間担当、地域の伝説的番組となる。土曜日午後の生ワ イド番組(現在は「大塚富夫のタウン」)は49年続いている。 ラジオでの食べ歩き取材は8年間、400店に及んだ。朗読 「ラジオ文庫」は13年担当(通算20年)。現在の朗読活動 の基礎となる。他に「ワイドステーション」を週に1回担当、 年末恒例「ラジソン」のメインパーソナリティを第1回から第 32回(2009年)までつとめる。2009年9月定年退職する も、業務内容変更なく再雇用、その5年後、契約社員として 現在にいたる。「おでって」「盛劇」「風のスタジオ」などでの 舞台朗読にも意欲的に取り組み、公演回数は100回を超 え、2004年からは、東京のA-STEP(アステップ) 朗読公演 にも参加している。飾らぬ軽妙な話術と端正なナレーション を武器にIBCアナ最長不倒記録更新。*現在IBCメディアセ ンターアナウンス部*これまでに、JNN,JRN系アノンシスト 賞7度受賞(98年度TV-CM部門は最優秀賞)(アノンシス ト賞…系列局アナウンサーのコンテスト)

*趣味…写真(絵はがき作り)、健康麻雀



世

音楽 三浦 祥子

《略歴》

「岩手県盛岡市在住チェリスト。

5歳より盛岡音楽院にてピアノ、ソルフージュ。

岩手大学教育学部附属中学校在学中にチェロを村井正一氏に学ぶ。

盛岡白百合学園高等学校、愛知県立芸術大学器楽科卒業

黒沼俊夫、井上頼豊、天野武子、スザンヌバスラー氏に師事

現在、藤原真理氏に師事。ソロ活動、宮沢賢治作品の朗読に合わせたチェロ演奏、宮沢賢治記念館事業「賢治の世界セミナー」講師を務める。

奥州ジュニア、盛岡白百合学園オーケストラ講師。ラトュール・カルテット、いわてフィルハーモニーオーケストラ所属。 三浦音楽教室(チェロ&ピアノ)主宰。